

らい 来ぶらり

図書館へ気軽にぶらりと来館していただきたいという思いで命名しました。

図書館を英語で「Library(ライブラリー)」といいます。

No. 101 2月号

2014年2月1日 発行

たつの市立図書館

龍野図書館 TEL(0791)62-0469

新宮図書館 TEL(0791)75-3332

揖保川図書館 TEL(0791)72-7666

御津図書館 TEL(079)322-1007

<http://www.city.tatsuno.lg.jp/library/index.html>



携帯専用サイトへは、
左のQRコードから
(<https://www.lib015.nexs-service.jp/tatsuno-city/mobile/index.do>)

読書と私 No.93

『ちいさいおうち』のように 新宮町 堀 育代

私と図書館の出会いは、確か長女が3～4才の頃、図書館で新宮町の子育てセミナーがあり、絵本の大切さを聞いた時からだと思います。その時図書館でお話会がある事を聞きました。ロウソクの灯りの下で聞かせてもらう物語を子ども達は大好きで、毎週のように通わせて貰いました。おかげで長女の本好きは現在も健在で、大人になった今でも特に児童書好きは変わらず、本に関わる仕事がしたかったと言い出すやら、部屋はあふれんばかりに本でいっぱいです。

帰省すると「図書館行って来るわ」と、司書の方とお話するのを楽しみにしています。

本を読むのが苦手だった私もいろいろ影響を受けて、今頃になって知らなかった絵本の魅力にはまり、娘と原画展を見に行ったり、絵本に癒されています。

子どもが大きくなり生活のスタイルも変わり、図書館に行く機会も少なくなりましたが、司書の方々とおしゃべりで「こんな本どうですか？」と勧めていただき「凄い！」なんて私の好みの本知っているのかなと思ってしまうほどで、ついついやりたい事リストが増えていきます。

日々の忙しさの中でふっとここに寄ると、本を借りるだけではなく、季節を感じられたり、おしゃべりしたり、いつもほっとする時間を過ごさせてもらっています。

私の好きな絵本のなかに、『ちいさいおうち』という本があります。この図書館も『ちいさいおうち』の様に時代が変わっても、いつまでも変わらずお付き合い出来ることを願っています。

『ちいさいおうち』
バージニア・リー・バートン 作 岩波書店

※『読書と私』は図書館の利用者に執筆していただいています。

『生命の逆襲』 福岡 伸一 著 朝日新聞出版



本書は、生物学者である福岡伸一氏が、週刊誌に掲載された『ドリトル先生の憂鬱』を編集したコラム集である。

「恐竜のしっぽは縞模様」

「レバー刺しのレバーの色の正体」等、興味深い内容が並ぶが、「大切なことはぜんぶ虫から教わった」では、福岡氏

の虫愛する少年だった時代の話に及ぶ。氏が昆虫観察から得た美意識は、色調や配色、組み合わせが自然の風合いにかなっているフェルメールの絵を好きにさせた。

「ミツバチの大量失踪が語ること」には、園芸作業の受粉手段として農具と化したミツバチが、人間には害のないといわれていた農薬によって、神経を侵され、巣に帰る能力に障害の出る話が書かれている。

「生命は逆襲のチャンスを待っている」には、コモドオオトカゲはとても勝てる相手ではない巨大な水牛の後ろ脚を一瞬の隙をついて噛んだあと、水牛が感染症にかかり衰弱し、倒れそうになるまで何週間にもわたり待って襲う、とある。ヒトは高度な知性を持つ生命体で、人間だけに心の働きがあると信じているが、待つというのはなかなか高等な心の作用で、生命はいつも逆襲のチャンスを狙っている。

タイトルには、逆襲とあるが、それは攻撃や復讐でなく、教訓と展望を含んだ論しであり、寛容さの表れであると綴られている。

38億年にわたる生命の時間の中でヒトが現れたのは、ごく最近のこと。ほとんどの生物は、ヒトの大先輩にあたる。私達は、ドリトル先生のように、自然や生物の囁きに耳を澄まし、リスペクトを示さなければならない。

(新宮図書館 上田)

トピックス

読書講演会開催

風土記編纂1300年を記念し、揖保川町における風土記ゆかりの歴史にせまります

「播磨国風土記とふるさと」

- ◎講師 岩井 忠彦氏
神戸医療福祉大学教授
- ◎日時 2月15日(土)
午後1時30分～3時
- ◎場所 アクアホール 3階 研修室
- ◎対象 高校生以上、一般
- ◎定員 30名(先着順)
※揖保川図書館へ(電話 72-7666)



戦国最強の軍師！！

「軍師官兵衛」の素顔—播磨から戦国を駆け抜けた男」

- ◎講師 富士本 健氏
播磨学研究所研究員
- ◎日時 2月22日(土)
午後2時～3時30分
- ◎場所 龍野図書館2階研修室
- ◎対象 一般
- ◎定員 50名(先着順)
※龍野図書館へ(電話62-0469)



おすすめる子どもの本・94

『スプーンおばさん ちいさくなる』 アルフ＝プリヨイセン 著 偕成社

ある朝、おばさんがベッドで目を覚ますと、おばさんの体はティースプーンくらい小さくなっていました。「なるほど！スプーンみたいに小さくなっちゃったんなら、それでうまくいくようにやらなきゃならないわね。」おばさんは、つぶやきました。

ご亭主は畑に行っただけで家にはいませんし、おばさんには仕事がたくさんありました。けれどもベッドから出るのも一苦労です。おばさんは、ふとんの端をしっかり持って体を巻き込みました。ふとんはくるくる丸まって床に落ち、そこでようやく下に降りることができました。

さあ次は家の掃除です。チュウチュウないてねずみ呼び出すと、ねずみに掃除を、猫には皿洗いを頼みました。

また、桶に入れて外に出してあった洗濯物のところに行くと、空に向かって叫びました。まず雨を呼びつけ洗濯物を洗わせ、それからわざと太陽を怒らせると太陽は真っ赤になって洗濯物を乾かしました。フライパンで焼かれているパンケーキには、「お前なら自分で裏返しになれると思うよ。」とおだて、ごはんの準備を整えました。

やがて、ご亭主が帰ってきてドアを開けました。するとその瞬間、おばさんの体はもとの大きさに戻っていました。

突然小さくなったスプーンおばさんは、知恵をはたらかせ、愉快な方法で困ったことを切り抜けていきます。明るい色彩でくっきり描かれた絵が、ノルウェーの素朴な暮らしや、元気でおおらかなおばさんの人柄をよく伝えます。

読んであげれば5歳くらいから。

(揖保川図書館 岡村)

『きつねものがたり』

ヨセフ・ラダ 作・絵 うちだ りさこ 訳 福音館書店

ドーランの森に住んでいるきつねくんは人間の言葉を話すことができ、文字を書くこともできます。

以前、ホモリ山の森番のボビヌシカさんにつかまって家に連れて帰られた時、子どもたちに本を読んでもらっているうちに覚えたのです。2人の子どもたちは暇さえあればきつねくんのところへ来て遊び、きつねくんも子どもたちになついていたのですが、それが面白くない2匹の猟犬に追い出され、ホモリ山の向こう側のドーランの森にやって来たのです。

ところが今までえさをもらってきたので、どうやって食べ物を手に入れたらよいのかわかりません。しかも、他のきつねたちがやるような方法でなく、物語に出てくるよ

うな頭を使ったやり方をしたいと思ったため、最初のうちは失敗ばかり。

しかしある日、きつねくんは、こっそり森番の電話で町の肉屋にハムを注文し、上等のハムを手に入れます。ところが、2度目にはハムではなく罌がしかけられていました。

昔話に出てくるきつねたちをまねて、失敗を繰り返していたきつねくんですが、知恵を絞り食料を手に入れただけでなく、正直な行動で領主の信頼を得て、ついには森番になります。

人間のように行動し、どんどん賢くなってゆくきつねくんを引き込まれていきます。

小学2年生くらいから。

(御津図書館 山本)



各館の行事予定

※詳細は各館へお問い合わせください。

館名	行事	対象(上段) ・ 時間(下段)	2月の予定
龍野図書館 TEL(0791) 62-0469	●えほんのじかん	0～3歳児、保護者 第3・第4土曜日(11時～11時20分)	15日・22日 『ぱか ぱか』他
	●子どもの本を読む会	一般 第2木曜日(10時～11時30分)	13日 『人形の家』ルーマー・ゴッデン 著
	読書会	一般 第2金曜日(10時～11時30分)	14日 『わが母の記』井上 靖 著
	龍野図書館読書講演会「軍師官兵衛の素顔」 講師:富士本 健 氏(播磨学研究所研究員) 【日時】2月22日(土) 14時～15時30分 【場所】龍野図書館 2階研修室 【対象】一般 【定員】50名 事前申込要		
新宮図書館 TEL(0791) 75-3332	●えほんのじかん	2～4歳児、保護者 第2・第4月曜日(11時～11時20分)	10日・24日 『まめのかぞえうた』他
	■おはなしのじかん	5歳児～ 土曜日(11時～11時30分)	1日・8日・15日・22日 「うば捨て山」他
	— 懐かしの名曲をあなたに — 蓄音機によるSPレコードコンサート♪ 蓄音機の銘機「クレデンザ」・「HMV194」によるSPレコードコンサートをします。懐かしい名曲をお楽しみください。今回は古い録音から比較的新しい物まで色々取り混ぜてお贈りします。【選曲・お話】福島繁博 氏【日時】23日(日)13時30分～15時30分 【場所】新宮図書館 【対象】一般(中学生以上) 【定員】50名(申込要)		
揖保川図書館 TEL(0791) 72-7666	●えほんのじかん	3～5歳児、保護者 第2・第3土曜日(10時30分～10時50分)	8日・15日 『ちいさなねこ』他
	■おはなしのじかん	小学生以上 第2・第3土曜日(11時～11時30分)	8日・15日 「ふしぎなたいこ」他
	読書会	一般 第3金曜日(10時～12時)	21日 『ステップ』重松 清 著
御津図書館 TEL(079) 322-1007	●えほんのじかん	0歳児～、保護者 第2・第3日曜日(11時～11時20分)	9日・16日 『ぼとんぼとんはなんのおと』他
	読書会	一般 第2火曜日(13時30分～15時30分)	11日 『青い壺』有吉 佐和子 著